



西長住四面ソフトバレーボール大会



草ヶ江校区新春のつどい



光雲神社街頭活動



当仁中の同級生と



烏飼校区ふれあい餅つき大会



桧原桜公園花見



別府公民館創立60周年事業



片江校区・南片江校区地域間交流事業



長住校区インディアカ交流大会

歴史

幼少時代



小学校の時の夢は、政治家になって「世界を平和にする」こと

学生時代



高校から続けるラグビー。その熱意でW杯を地元・福岡に誘致

銀行員時代



銀行員として地域の現場で生きた経済や地域の実情を学ぶ

政治家へ



30歳で県議会議員、40歳で衆議院議員となり実績を重ねる

衆議院議員 おにき誠 プロフィール

○昭和47年10月 福岡市生まれ
○田島小学校(城南区)卒 ○当仁中学校(中央区)卒
○ラ・サール高校卒 ○九州大学法学部卒

- 議員連盟
- 旅館・ホテルの未来研究会 会長
 - 国連ハビタット議員連盟 会長
 - 警備業推進議員連盟 事務局長
 - 日本パラオ友好議員連盟 事務局長
 - LPガス議員連盟 事務局長
 - 不動産鑑定士制度推進議員連盟 事務局長

平成 7～14年 西日本銀行 渡辺通支店～大名支店
平成 15～24年 福岡県議会議員(3期10年)
平成 24年12月 衆議院議員に初当選(現在5期目)
平成 27年10月 環境大臣政務官
令和 3年10月 防衛副大臣就任
令和 4年10月 衆議院 安全保障委員長 就任
自民党 税制調査会幹事 就任
令和 5年 9月 自民党 国防部長 就任
令和 5年12月 防衛副大臣再任
令和 6年11月 自民党国会対策委員副委員長 就任
自民党税制調査会幹事



おにき誠 新聞

2025年4月発行



ごあいさつ

昨年の総選挙ではたいへんお世話になりました。小選挙区では初めての落選となりましたが、皆様の応援のおかげで比例区での復活当選を得ることができました。議席の重さを噛み締めて、しっかりと国会で頑張っていきたいと思います。

1月から始まった通常国会では、令和7年度予算を成立させる(4月1日には国民のもとへ届ける)ために、必死に取り組みました。岸田内閣～石破内閣で足かけ4年務めた防衛副大臣もようやく任を解かれ、現在は自民党の国会対策委員会 副委員長を務めています。少数与党で予算や法案を成立させるのは至難の業です。「国民のために!」と、野党にも責任ある対応を呼びかけています。

また衆議院の予算委員会では、重くなった国民負担の改善や、老朽化する道路・下水道のメンテナンスについて質問しました。この質問はネットで反響を呼び、YahooニュースのトップやTVでも取り上げられました。

通常国会は6月下旬まで続きます。平日は東京で働いていますが、週末ごとに福岡に戻って街頭に立っていますので、ぜひみなさんのお声を聞かせてください。

衆議院議員 おにき誠

おにき誠公式ホームページ
LINE公式アカウント
Facebook ページ
YouTube チャンネル

日々の活動を SNSで発信しています!

衆議院議員おにき誠事務所
〒810-0014
福岡市中央区平尾2-3-15 2F
TEL.092-707-1972
FAX.092-707-1984
makoto@onikidon.com

討議資料

おにき誠 新聞
24
2025年4月発行

討議資料

■ 国会対策委員会 副委員長に就任

国会対策委員会（いわゆる国対）とは、政府が閣議決定した予算や法案を成立させるために党内外の調整に走り回る裏方役です。あまり表に出る場面は多くありませんが、政府と国会をつなぎ、政策実現を前に進める心臓部です。

私の担当委員会は経済産業委員会と復興災害特別委員会です。今国会では、国が最先端の半導体生産を支援する情報促進法や、価格転嫁や賃上げを実現するための下請け法改正などに取り組んでいます。

■ 2025年通常国会の注目法案

予算成立後の国会は、各政策を実現するための法案を成立させることが主な役割となります。まさに立法院としての仕事です。今国会では59件の法律案が内閣より提出され、国民生活の改善のために議論されます。

- ・下請け法改正
- ・マンション再生円滑化法案
- ・サイバーディフェンス法案
- ・カスタマーハラスメント対策法案

■ 予算委員会で質問に立つ

重たくなった国民負担について、何が原因なのか？国民が納得できる負担のあり方はどのようにして実現するか？老朽化する公共インフラをどうやってメンテナンスしていくか？無償化政策は最終的には国民の負担を増やすのではないかと等、質問しました。野党にとって耳の痛いことも言ったので多くのヤジも出ましたが、立憲民主党の予算委員長が「立憲うるさい！」と（自分の党の委員達を）注意をしたことから、たいへん注目を集める質問となりました。



こちらのQRコードから
質問動画を視聴できます



■ 103万の壁、与党の対案は？

「103万の壁」の103万とは所得税の「課税最低限（その水準を超えると課税が始まる給与収入）」のことです。パートなどで働く人の年間収入が103万円を超えてしまうと超えた分の収入に税金がかかるようになるため、それ以上働くことを控えてしまうこと（働き控え）が起きていました。働き控えは働く人にとっても働いてもらう人にとっても社会的マイナスなので、それをどうやって解決しようか？という課題です。

課税最低限を178万円に引き上げるという国民民主党の案を踏まえ、所得税と住民税の基礎控除等を75万円引き上げる場合、

1. 総額7～8兆円の税収が減り、国の運営に大きな支障が生じる
2. 特に地方の税収に大きな穴が開き、地方行政が立ちいかなくなる
3. 低所得の方が働けるための対策なのに、税率の高い高所得者ほど優遇（大きな減税）になる

などの問題がありました。令和7年度税制改正では与野党間で協議を繰り返し、

1. 所得税の課税最低限を給与収入160万円相当まで引き上げる
2. 財源はきちんと確保し、国や地方の財政に深刻な影響を与えない
3. 控除額は年収に合わせて段階的に変動させ、高所得者優遇にならないようにする

という案が提出され、国会において成立しました。これにより給与収入が160万円までの人は所得税非課税で働くことができます。自民党は、国民の負担や不便を解消することに真摯に取り組むと同時に、将来にわたる国家経営にも責任ある態度で臨んでいます。



「国会に鬼木誠が二人いるってホント!？」

実は国会には「鬼木誠」が2人います！1人は私、衆議院議員の鬼木誠（自民党）。そしてもう1人は参議院議員の鬼木誠さん（立憲民主党）です。私は衆議院の小選挙区（福岡2区）から立候補していますが、立憲の鬼木さんは参議院の全国区から立候補しています。同姓同名で読みまで同じなので、電話や郵便物の間違いも多いです。2人とも福岡出身でラグビーをしていたという共通点もあり、「鬼木誠に悪い人はいない！」を合言葉に仲良くさせてもらっています。